

その22
ぶらっとお能
 2007.1.9

新年に入り、仕舞も新しい曲となりました。

「ヨヨ衣」です。
 はごろも

これまでやってきた
 ちょっと暗めの(?)「虫單丸」と
 ちがって、たまだかはななめか
 です。 たたみかこたみ

クセとキリ 今回習川はじめたのは「ヨヨ衣キリ」です。

仕舞の専門用語に「クセ」と「キリ」があります。1つの能の中にも2か所仕舞として舞われる部分がある場合、どちらであるかを示すためです。

「クセ」 舞いのはじめりにあたる。扇は必ず開いてスタート。基本的な型がタタ。

「キリ」 能の最後の部分。ピンからキリのキリです。型も変化があるものがタタ。扇は閉じてスタートするものがタタ。



↑
扇をひらいてスタート

あずま遊びのかずかずに

自分の言いは最初のこれだけ。舞の途中で言えなくなるとはいいのです。ほ。



季節: 春
 シテ: 天人

能にはめからしく(?)
 わかりやすく・明るいストーリー
 衣装もきれいでこのおススメ。

有名なヨヨ衣伝説の能をバージョンです。



長ちまき
 絹

源氏にそのヨヨ衣をとらわらした天女がふいとか返してもらい、お返しに舞をまうとろ。

お能では舞のために葉束「長ちまき」を付けます。(仕舞はつけない)とても豪華。



扇を左手でもったり(右の方は右でもったり)もちかえたり、ぴゅーんとうごかしたり。ぴゅーんとはゆさせたり... 覚えるポイントは。

「まゆき扇」という型をします

「はゆ扇」という型をします

ヨヨ衣の詞章

「あずま遊びのかずかずに」
 あずま遊びのかずかずに
 その名も月の色人は
 三五夜中の空にまた
 満願真如の影となり
 御願円満
 国土成就
 七宝充滿の宝をふらし
 国土にこれを施したもう
 さるほどに時移りて
 天のヨヨ衣
 清風にたなびきたなびく
 三保の松原
 浮き島が雲の高根
 かすかになりて天つみ雲の露にまぎれて失せにけり